

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日： 令和7年（2025年）1月14日

作成者： （課名）市民協働推進課

（氏名）前村 聰

1 基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	宝塚小学校区まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	<p>【基本目標】 宝塚らしい環境景観づくり ②地域の宝物をみんなで共有し、情報発信のできるまち</p> <p>【具体的な取り組み】</p> <p>58 歴史博物館を作るよう働きかける（コミュニティ）</p>
取組内容の関係課	社会教育課

2 対話の状況

(1) 実施概要

ア 日時： 令和6年12月24日（火） 10:30～12:00

イ 場所： 中央公民館206学習室

ウ 出席者： <まちづくり協議会>
宝塚小学校区まちづくり協議会
●

<関係課>
社会教育課 河合課長、新井場係長

<協働の取組推進担当次長>
伊津次長

<市民協働推進課>
前村

(2) 確認できたこと

ア 提案の趣旨

歴史博物館の建設について

イ 対話内容

（まち協）

古代から現代まで時系列的に宝塚の歴史が分かるような、訪れた者が教養を深められる場所【歴史博物館】を作りたいと、これまで話し合いを進めてきたが、現在市の財政状況を踏まえると、新しく建てるのは財政的に困難なことから、市内にある遊休施設（学校統廃合による空き教室）を【歴史博物館】として利活用ができるか、またそのような場所がどれくらいあるかの調査し、情報の提供をしてもらえないか。

（社会教育課）

（前回と同じ回答の繰り返しとなるが、）新しく歴史博物館を建てることは難しい。博物館に実際に行かずとも、各々のデバイスで宝塚市の歴史や文化を知ることのできる【たからづかデジタルミュージアム】というデジタルコンテンツにて現在情報発信を行っている。今後も情報を常に新しい状態にしていき、予算の確保ができたらコンテンツの拡充も考えている。中央図書館の改築時に合築する要望があれば検討するが、まずは一度、たからづかデジタルミュージアムをご確認いただき、感想や意見があればいただきたいと考えている。

（伊津次長）

遊休施設（学校統廃合による空き教室）については、施設マネジメント課に確認するが、用途も決まっており、【歴史博物館】としての利活用は難しいのが現状である。

（まち協）

たからづかデジタルミュージアムの確認をする。遊休施設については、情報の提供を求める。

ウ 今後の対応

新たに歴史博物館を整備・運営することは困難です。また、現時点では遊休施設はありません。まずは現在市が提供をしているたからづかデジタルミュージアムを確認していただき、ハードの整備をせずに目的を果たすことができないか、地域との協議を進めていくことになった。